

入鹿池ワカサギ食用魚介類調査

入鹿池に生息するワカサギを調査し、今般の事故による人の健康への影響の有無等を評価

○実施要領：事故前及び事故後に採取したワカサギをそれぞれ検体とし、専門の民間会社において分析等を実施。

○調査内容：人体への影響が懸念される物質として、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀の7項目について分析

○調査結果：事故前及び事故後の検体におけるそれぞれの濃度は同程度であり、コーデックス一般規格（※1）及び厚生省暫定的規制値（※2）が設定されている項目については、いずれも基準値を下回ったことから、当該事故に起因すると考えられる影響は確認できず、**事故による環境汚染及び人の健康への影響はない**ものと評価。

単位：mg/kg(wet)

分析項目	ワカサギ		定量 下限値	コーデックス 一般規格	暫定 規制値
	令和6年 採取	令和7年 6月28日採取			
カドミウム (Cd)	0.16	0.13	0.01	2	なし
全シアン (CN)	0.7	<0.1	0.1	なし	なし
鉛 (Pb)	0.03	<0.01	0.01	0.3	なし
六価クロム (Cr ⁶⁺)	<0.1	<0.1	0.1	なし	なし
砒素 (As)	0.2	0.3	0.1	なし	なし
総水銀 (Hg)	0.03	0.02	0.01	なし	0.4
アルキル水銀 (R-Hg)	<0.005	<0.005	0.005	0.5	0.3

（※1）「コーデックス一般規格」とは、FAO（国連食糧農業機関）とWHO（世界保健機関）が合同で設立した国際食品規格委員会が策定している世界食品規格のこと。

（※2）「厚生省暫定基準値」とは、昭和48年厚生省（当時）通知の水銀に係る魚介類の暫定的規制値のこと。